

タウンサポーター

下都賀教育事務所ふれあい学習情報紙 第170号【令和7年8月号】

*ホームページでも情報発信中！



下都賀教育事務所ふれあい学習課

検索

【発行】 下都賀教育事務所ふれあい学習課
【TEL】 0282-23-3422
【E-mail】 shimotsuga-hureai@pref.tochigi.lg.jp



8月は「家庭の日」推進強調月間です

下都賀地区人権教育指導者一般研修 「人権フォーラム」



5月30日（金）日東工業エニスホール（野木町文化会館）にて、下都賀地区人権教育指導者一般研修「人権フォーラム」を開催しました。講師として、作家、詩人、歌手とマルチに御活躍され、現在は明治学院大学の教授として教鞭を執られているドリアン助川氏をお招きし、「生きることのもう一つの意味 小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた理由」をテーマに御講話いただきました。ハンセン病回復者を主人公とした小説を書くに至った経緯等、一つ一つのエピソードの中に、私たちが生まれてきたことの意味、生きることの意味について考えるためのヒントがあり、参加者一人一人が自分に問いかけながら聴講することで、多くの学びを得る機会となりました。

〈参加者の感想〉

- ・感受するという点において、全ての人は平等であるという考えに共感しました。
- ・主体性という言葉が先行する中、感受ということの大切さは自分にとって新たな発見でした。
- ・ハンセン病を学ぶ気持ちで参加しましたが、想像をはるかに超えて様々なことについて考える、大変有意義な時間でした。



下都賀地区PTA指導者研修Ⅰ

6月26日（木）栃木市藤岡文化会館を会場に標題の研修会を開催しました。本研修では、「絵本に込める思い～絵本を通した親子の絆づくり～」を演題とし、絵本作家のいしかわこうじ氏から御講話いただきました。いしかわ氏からは、親自身が楽しみながら絵本を読み聞かせることの子どもへの効果や、本を身近な存在にするために大人ができること等のお話をいただきました。また、いしかわ氏御自身が参加者に向けて絵本を読み聞かせをする場面もあり、会場全体がとても温かい雰囲気になりました。講話後にはグループに分かれて、本研修のテーマでもある「子どもの読書活動の充実に向け、大人としてできること」についてそれぞれの立場で何ができるかを考え、活発に意見交換をし、有意義な研修となりました。



〈参加者の感想〉

- ・子どもの読書に大人の自分がもっと寄り添っていくことで、より親子の会話が生まれるのではないかと思います。
- ・大人としてできることは、色々な時期に適した本が自分で選択できるように環境を整えてあげることが大切だと思いました。



地域をつなぐふれあい学習



野木町立野木小学校放課後子ども教室

「地域と共に『野木小っ子』放課後子ども教室」

令和6年度から始まった「放課後子ども教室」は、参加者51名・スタッフ12名で、今年度は5月から活動がスタートしました。

「こんにちは」の元気な挨拶から、毎月楽しみにしてくれている様子が伝わってきます。

大人気のおにぎり作り、地域の外部講師による工作や手品、こまやけん玉の昔遊びなど、どの活動も安心した小学校の場所だからこそ、生き生き取り組んでいます。

子どもたちの個性は、一人ひとり違います。私たちスタッフは、円滑に活動が進行するよう打合せをしたり、気持ちに寄り添い無理なく臨機応変に対応したりして、連携を深めています。

未来ある子どもたちが様々な経験を通して地域と繋がり、主体的で豊かな心を育むお手伝いをこれからも続けていきたいと思ひます。



栃木市栃木公民館

「栃木公民館講座「こどもサークル」について」

栃木公民館では、毎年夏休みを利用して、栃木中央地域の小学生を対象に、こどもサークル（全5回）を実施しています。

7月21日（月）は、家庭教育オピニオンリーダーCARPAの皆さんの協力のもと、「友達づくり」を実施しました。活動内容は、まずグループ対抗でゲームを行い、交流を図りました。その後、ジャガイモの塩ゆでときょうりの浅漬けを食べながら、バランスの良い食事の取り方を学びました。

7月30日（水）は、スポーツ課職員による「ボッチャに挑戦」を実施しました。今後、おやじの会などの地域の皆さんの協力を得て、体験学習や工作を楽しく学んでいく予定です。



毎年、様々な体験をした子どもは成長した姿をみせてくれます。これからも、地域の皆さまの協力を得ながら、楽しく学べる講座運営をしていきたいと思ひます。

小山市豊田公民館

「地域資源の活用と多世代交流」

豊田公民館では、6月14日、29日、7月6日の3日間にわたり親子陶芸教室と陶芸講座を同時に開催し、小学1年生から70代の方まで幅広い年代の方々に参加いただきました。

当館で活動しているサークル「豊田友陶会」の皆さんを講師に迎え、固く乾燥しやすい土での作陶や、焼き上がりの色を想像しながらの釉掛け（※）など、楽しく交流しながら制作しました。二つとない作品づくりに夢中になり、窯出しの瞬間は歓声が上がりました。

参加者からは「一番自分で上手だなと思ったのはコップです。家に持ち帰って大切にしたいです。」「あっという間の3回でしたが子どもたちの豊かな発想にビックリ。豊かな気持ちになりました。」という感想をいただきました。

※釉掛け…「くすりかけ」又は「ゆうかけ」と読み、素焼きの陶磁器の表面に釉（うわぐすり）を掛けることを言ひます。



窯を開けた瞬間！

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。「ふれあい学習」を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。